

ID

氏名

年齢

科名

病棟

Nivolumab(4週毎)＋5FU
＋CDDP療法
《初日に5日分調製》

4 週毎 コース予定

疾患名 食道癌

主治医 指導医 HBs抗原()、HBs抗体()、HBc抗体()

スケジュール

		day1	day5
オプジーボ(ニボルマブ)	480 mg/body	↓	
フルオロウラシル	4000 mg/m ² /5日 【800 mg/ m ² /日】	↓	→
シスプラチン	80 mg/m ²	↓	

- 【注意】
- ＊ シスプラチン投与時は1日の尿量が3000 mL以上になるよう、化学療法前日より輸液を行う
 - ＊ シスプラチン、ニボルマブはポンプを使用しないこと
 - ＊ 他剤使用時は、ニボルマブ投与前に血管確保用生食にてフラッシュすること
 - ＊ ニボルマブはインラインフィルター(0.2または0.22 μ m)を通して投与すること

通常量より減量する際の理由

(レジメン)

Day 1

抗がん薬投与1時間半前にアプレピタントカプセル125 mg 1C 内服

① 生食 500 mLで血管確保・

維持(20 mL/時間)

② オプジーボ 480 mg + 生食 52 mL

点滴静注30分(100 mL/時間)

◎30分間あけて

③ 生食 500 mL + L-アスパラギン酸K 10 mEq + 硫酸Mg補正液 4 mEq

点滴静注120分(250 mL/時間)

④ Day 1～Day 6 フルオロウラシル + 生食1000 mL

Nivolumab（4週毎）＋5FU＋CDDP療法＜初日に5日分調製＞

- ⑤ パロノセトロン0.75 mg ＋ デキサメタゾン9.9 mg ＋ 生食 20 mL 側管静注
- ⑥ シスプラチン ＋ 生食 250 mL 点滴静注120分(250 mL/時間)
- * 生食 250 mLをバッグから前もって抜く
- ⑦ マンニトールS 300 mL 点滴静注 30分(600 mL/時間)
- ⑧ 生食 500 mL ＋ L-アスパラギン酸K 10 mEq ＋ 硫酸Mg補正液 4 mEq
- 点滴静注 120分 (250 mL/時間)
- ⑨ 生食 500 mL 点滴静注 120分 (250 mL/時間)
- ⑩ オランザピン 5 mg 1錠 1×タ 内服(※糖尿病患者は禁忌)
- ⑪ ソルアセトF 500 mL 点滴静注 80 mL/時間
- ⑫ ソルアセトF 500 mL 点滴静注 80 mL/時間
- ⑬ ソルアセトF 500 mL 点滴静注 80 mL/時間

Day 2 - 5

- ① デキサメタゾン6.6 mg (2 mL) ＋ 生食20 mL 側管静注
- ② ソルアセトF 500 mL 点滴静注 80 mL/時間
- ③ ソルアセトF 500 mL 点滴静注 80 mL/時間
- ④ ソルアセトF 500 mL 点滴静注 80 mL/時間
- ⑤ ソルアセトF 500 mL 点滴静注 80 mL/時間

Day 2, 3 アプレピタントカプセル80 mg 1×朝 内服

Day 2 - 4 オランザピン 5 mg 1錠 1×タ 内服(※糖尿病患者は禁忌)

Nivolumab（4週毎）＋5FU＋CDDP療法《初日に5日分調製》

	コース				
	Day 1	Day 2	Day 3	Day 4	Day 5
月日	/	/	/	/	/
オプジーボ 開始時刻	↓				
フルオロウラシル 開始時刻	↓	→	→	→	→
シスプラチン 開始時刻	↓				
確認					

	コース				
	Day 1	Day 2	Day 3	Day 4	Day 5
月日	/	/	/	/	/
オプジーボ 開始時刻	↓				
フルオロウラシル 開始時刻	↓	→	→	→	→
シスプラチン 開始時刻	↓				
確認					

	コース				
	Day 1	Day 2	Day 3	Day 4	Day 5
月日	/	/	/	/	/
オプジーボ 開始時刻	↓				
フルオロウラシル 開始時刻	↓	→	→	→	→
シスプラチン 開始時刻	↓				
確認					